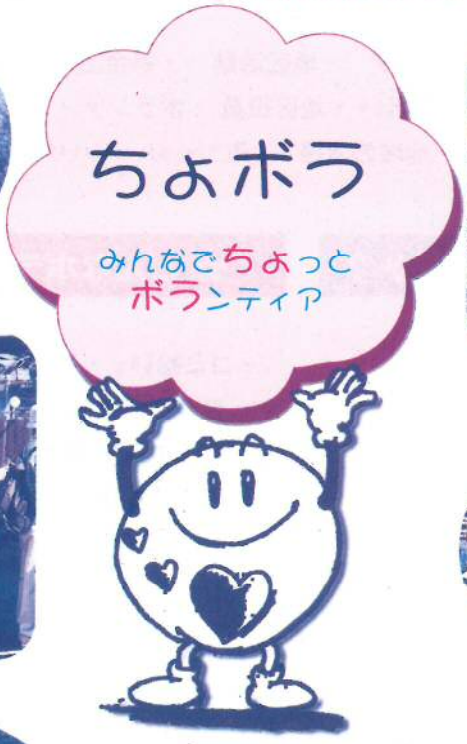
平成14年3月　第27号
海蔵社協通算　第48号

地区広報 かいぞう

小さなボランティアが地域を支える

今年のテーマはボランティア。
それもちょっとしたボランティア「ちょボラ」のすすめです。ボランティアはもちろん対価を求めるものではありませんが、そのことにより自分自身の気持ちがさわやかで、豊かになるという大きな対価が得られるものでもあります。
　それはまるでブーメランみたいに。

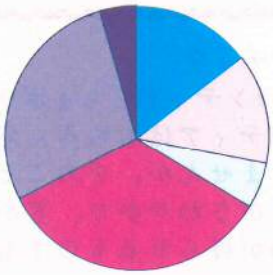


海蔵地区の人口　総数11,875　男　5,930　女　5,945　世帯数　4,362　（3月1日現在）
編集・発行　海蔵地区社会福祉協議会・海蔵地区市民センター　印刷／北勢印刷（有）

ボランティアって何でしょう？

～ 海蔵地区文化祭でアンケートに答えて頂きました。 ～

☆ ボランティアから連想することは？



☆ ボランテイアの経験は？

ある　63%

ない　37%

☆ どんなボランティアをしたことがありますか？

・ゴミ拾い　・体の不自由な人への心のケア　・地区活動　・募金活動　・障害者運動会のサポーター
・ＰＴＡ活動　・バザー　・施設でのお手伝い　・地区役員　・ボランティア貯金　・社交ダンスを教える
・ＰＴＡ役員　・お年寄りのお世話　・地域の清掃　・町づくり　・バリアフリー調査　・介護

☆ ボランティアをしたいと思いますか？

思う　73%

思わない　27%

☆ どんなボランティアがしたいですか？

・ゴミ拾い　・福祉　・介護　・町づくり
・自分に出来ることを見つけて　・いろいろ
・よろこんで頂けることをする　・心の支え
・子育て支援　・人の役に立つこと　・わからない

海蔵のボランティア憲章

一本人がボランティアだと
思って行動をする
一決して他の人に害を与え
ない
一何らかの役に立っている
一行動行為の大小ではない
一対価を求めない

ボランティア…耳慣れよくなじんだ言葉です。

さて、正式な日本語は「義勇兵、志願者、奉仕者、自ら進んで社会事業などに無償で参加する人、個人の自発的意志により自己利益でなく他益のために行動する人、またその行為」とうまく日本語になりません。そこでパロディー風に『海蔵地区ボランティア憲章』を提案します。

考えてみますと、私たちの国では昔から「人のお世話にならぬよう、人のお世話はするように、そして報いは求めぬように」と教えられ、一日一善、相互扶助、おかげさまでなど先人が育んできた文化があります。そして少し前の時代まで「向う三軒両隣」「遠い親戚よりも近くの他人」など、ボランティアなどと大げさに意識せず、ごく当たり前として互いが助け合う良俗もありました。またそうせずにはお互いが生きていけない時代でもありました。それが戦後の高度成長期を経て私たちは「隣は隣」「人は人」でも生きていける生活環境を手にしました。がその代償に人間として一番大切なもの、「心」までなくしたようにも思います。

今こそ、よい意味でのかつての村的な要素を再構築するために、私たち全員がちょっとしたボランティア「ちょボラ」を心がけねばならないと思います。

この世紀、この地区が人の心の砂漠とならないためにも。

子どもたちのちょっとしたボランティア

山手中吹奏楽部“チャリティーラン”に演奏・伴走のボランティアで参加

心身に障害がある子どもたちの支援を目的にしたＹＭＣＡ主催「チャリティーラン」が平成13年５月28日（土）、四日市中央緑地公園で開催され、山手中学吹奏楽部の生徒たちもボランティアで演奏と伴走で参加しました。

当日、生徒たちは開会式、閉会式を演奏で盛り上げ、五人一組の駅伝方式レースに参加し、いろいろな衣裳で工夫をこらし、マイペースで善意のたすきをつなぎました。"浴衣"姿で力走した３年生チームがみごとコスチューム賞に輝きました。部員たちは障害児支援のための貴重な活動ができたことを何よりうれしく思ったようです。当日の会場にはみんなのさわやかな笑顔が広がったそうです。

昨年も吹奏学部は地区運動会の行進曲、まなびピア三重の開会セレモニーの演奏をしたり、合唱部も地区敬老会で合唱を披露したりしています。生徒たちは部活動を通し、多くの人々の心を癒し励ましています。

海蔵小児童ボランティアの入り口に到達

きっかけは～ 福祉・環境学習～

（福祉体験学習）

新学習指導要領実施にともない、これまでにない新しい授業である総合的な学習がスタートしました。六年生は福祉学習、四年生は環境学習に取り組みました。

六年生のバリアフリー調査では、子どもたち自身が実際に車椅子を使い、海蔵地区を調べ、障害者や交通弱者のために役立つ活動をしました。また、四年生は海蔵川の水生生物採集調査をし、川の汚れについて気づき、自分たちにできることをしようとゴミを拾い始めました。総合的な学習を通し、子どもたちは”自分たちにできることをやってみよう！“とボランティアの大切な心を学んだようです。

山手中全校生徒「クリーン大作戦」で地域にちょボラ

山手中学校では、三年前から十二月の第三土曜日に地域奉仕作業「クリーン大作戦」を実施しています。

この活動は全校生徒、職員、保護者が山手校区のそれぞれの地区にわかれ、地域の人たちとともにゴミを分別しながら集め、みんなの力で町を美しくしようとするものです。

この活動を通し、普段お世話になっている地域のみなさんと生徒の間にとてもよい関係ができたように思います。

子どもたちのちょボラで２１世紀の海蔵を支え、輝かせて！

皆さん 信号 守っていますか

赤はとまりましょう。
黄色もとまりましょう。
青になったら右をみて左をみて、もう一度右をみて注意してわたりましょう。
夜は明るい白っぽい服装で歩きましょう。
自転車に乗る時は必ずライトをつけましょう。
できるだけ体や自転車に光る反射材などをつけましょう。

これは地域の熟年大学老人クラブや幼稚園、保育園などで北交通安全協会婦人部の一員としてボランティア活動で皆さんの集まりに伺う時に行う創作劇「水戸黄門」の中の格さんのセリフです。

毎年高齢者の交通事故が多くなっています。一日一日を大切に過ごしていただくために健康と交通事故には気をつけましょう。

私はこの劇を演じながら客席で真剣にうなづかれる姿をみるたびに「この方たち皆さん元気でいてほしい」と願ってやみません。ボランティア活動をくり返す中でいつしかそれは私の心のメッセージとして一人歩きをしています。

「皆さん信号守って下さいね。」と心から交通事故をなくすよう今日も格さん役の練習です。私の中の熱い思いを届けるために。

ボランティアエトセトラ

ボランティア活動を通して思うこと

広報誌づくりも ボランティア!?

海蔵地区広報委員になって数年になります。毎年テーマ設定から原稿・校正まで〆切の時期には試験勉強の様に夢の中でも焦っています。周りからは「あの人は好きでやっているから」という声もチラホラ。

でも実際そうかもしれません。テーマ作りはいつも人間として大切なことの確認をし、その意識を高めます。それを数年させて頂いた事は人間として成長させて頂いたことと感じています。

また、部会での世代を越えた交流は幅広い知識や雑談の宝庫です。テーマという太い幹には人間の深みを加えるいろんな枝葉がエッセンスとなっています。(つまりは脱線こそ部会の命でもあります)

この時代、皆それぞれのボランティア活動を経験されると思いますが、ボランティアにはする側とされる側の互いの立場や思いやりの尊重が大切だと考えています。ややもするとする側の一方的な思い込みやされる側のして当たり前の甘えがせっかくの関係を壊すこともままあると聞きます。

広報誌づくりも作り手の一方通行にならぬよう、読み手側を尊重し、楽しみながら関わっていけたら良いと思います。

私のボランティア思考

現在わが国には９万を超えるボランティア団体、約７００万人のボランティア活動者があるといわれています。

では一体ボランティア活動とはどんな活動をいうのでしょうか。

例えば地域では自治会単位での公園や道路の清掃があります。

ではボランティアは健常者だけのもので、障害者など一般に弱者と呼ばれる人はボランティアとは無縁でしょうか。

先日新聞にこんな記事が載っていました。元手が要らず、しかも利益は莫大。与えても減らず、与えられた者は豊かになる。一瞬見せればその記憶は永遠に続く。どんな金持ちもこれ無しではくらせず、どんな貧乏人もこれによって豊かになる。さて一体なんの事でしょう…？答えは「笑顔」です。

ある老人ホームでは寝たきりのお年寄りがこう言いました。「私は社会に何一つ貢献はできないけれど、寮母さんにおむつを替えてもらう時は笑顔でありがとうということがせめてものボランティアです。」

笑顔と挨拶こそ誰にでも出来うるボランティアです。かといって挨拶したのにかえらないと思う心は頂けません。つまりボランティアは見返りをもとめてはいけません。今挨拶をボランティアとするか否かは別として挨拶は自分がしたいからするものでボランティアの精神もまさしくそう言う事ではないでしょうか。

地域に還元される税金のちょっといい話

〈市納税課のはなし〉

納税が国民の義務であることは、誰しもがよく承知しているはずであり、市民の皆さんをより豊かにし住みよい街をつくり社会を守るために、欠くことの出来ないのが税金です。

ところが、例えば、納期に税金を納めていただけないため、毎年督促状を十万通以上送付します、その経費が一千万円以上かかります。

また滞納繰り越しが三十四億円ほどあって、市民の皆さんの要望を取り入れた事業が思うように進められません。

納税協力会の設立

そこで市は税の意識を高め、納税の効率を上げるためそれまであった納税貯蓄組合の制度を廃止して、行政区毎に納税協力会の設立を連合自治会に呼びかけ平成九年より設立することになりました。

そのねらいは

①税に関する意識を高める
②期限内に税を納める
③口座振替による納税

この三つを重点に納税実績による奨励金を街づくり活動の一助にしようということであります。

奨励金の出し方

個人の市民税、固定資産税、都市計画税が対象

〈算出方法〉

期限内納付	1件につき100円
口座振替による納付	1件につき80円
みなし口座納付（源泉徴収方法）	1件につき80円

平成13年度海蔵地区納税協力会

収入（奨励金）

	1,092千円
賦課件数	8,820件
うち期限内納付	702千円
うち口座振替	186千円
みなし口座	192千円
事務費	10千円

協力員 — 納税協力会 — 各自治会長

支出

標語募集	地域社会づくり推進委
堤防清掃	
花いっぱい運動	
研修視察	
文化祭	地区社協
運動会（大谷台校区）	桜まつり実行委員会
桜まつり	

税金に納期を守ることはもちろん納税の方法も口座振替により、自動引き落としにしてほしいということです。この地域において期限内に納税した件数の中で口座振替の方法はわずか二十六％余りと低いようです。

この点を皆さんに協力していただければ奨励金も増え、よりよい地域社会づくり事業の予算をいただけるわけです。

税金教室に参加した中学生の作文

「税金」て聞くといやな思いがします。金をとられるって感じでなんか変なかんじです。ついこの前も、消費税が三パーセントから五パーセントに上がりました。不景気だから仕方ないと思ってもなんか嫌でした。

私はこの前「税金教室」に参加しました。そこでは税金の使い道や税金の種類などを勉強しました。

私たちが今通っている学校もすぐそばにある社会保険病院も消防署もみんな税金でたてたものです。その事を考えてみると私たちの生活は税金のおかげで豊かになっているんだと思います。

（中略）

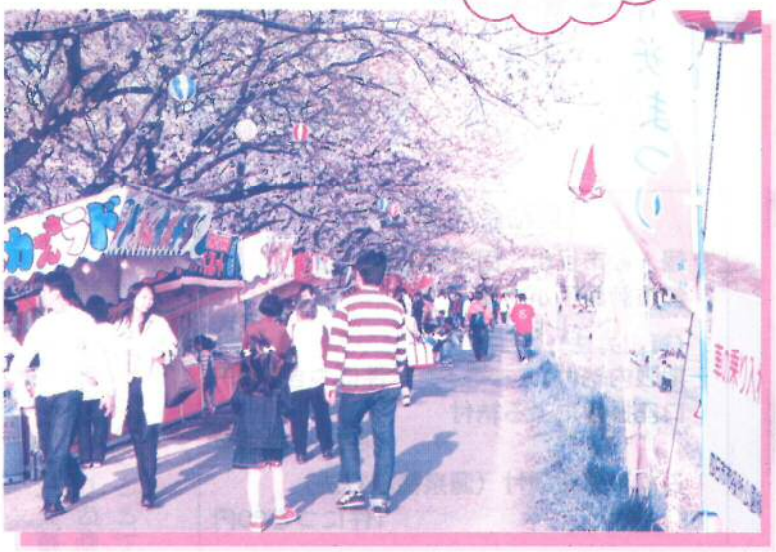
日本の消費税は五パーセントですが、他の国はどうなのか。税金教室で聞きました。なんと、どこの国も日本より多いのです。中でもスウェーデンは二十五パーセントと私の想像をはるかに超えていました。フランスでも、二十・六パーセント、中国では十七パーセントです、お隣の韓国では十パーセントです。

税が導入された理由は、国の財政が不安定になったからという理由もあるかもしれませんが、やはり私たち国民の生活を少しでも豊かにしようという理由が一番妥当ではないでしょうか。

税金という言葉を聞いて重荷に感じないで、私たちのため、少しでも生活を豊かにするための会費だと感じるとそんなに重荷に感じなくなるかもしれません。

た地域だより

桜まつり



グランドゴルフ

かき園を開放していただきました。

防災訓練

手作り教室

カメラがとらえ

東海道制定400年祭

地区文化祭

ウォークラリー

パソコンに触れてみよう

三世代交流

ご存知ですか

庚申塚跡

山手中学校の近く、いぬなし自生地の五十メートル東に根元の周囲3メートルを超える山もの木があり、この場所は「庚申（こうしん）塚」跡と呼ばれています。

海蔵小史に「無格社・志弥神社、所在地・東阿倉川北出口一五四番地、祭神・猿田彦、祭日・四月十三日、方俗に庚申神祠と呼んでいる」とあります。

庚申とは「かのえさる」。室町中期から貴族の間で六十日ごとに一巡する庚申の日に庚申さま（腕六本の青面金剛）の掛図や猿田彦の像を掲げ経典を読み、夜を徹して話し合う風習がありました。

道教では庚申の日に「三尸（さんし）」の虫が人の寝静まるのを待って人体から抜け出し天の司命という神の許に至り六十日間のその人の犯した罪を報告する。司命の神はその報告に基づいて罪の軽重を勘案しその報いとして様々な禍を人間に与える。それで庚申の夜は「さんし」が抜け出るのを防ぐため夜通し様々の遊びをして夜明かしをした。それを庚申のお遊びといいました。

江戸時代になって庶民の間にまで普及し、道祖神の信仰とも結びつき、悪霊や魔人の侵入から村を守るものと信じられるようになりました。

東阿倉川では正徳元年（西暦一七一一年）頃からこの行事が行なわれていたとの事です。

この地にあった庚申石像は現在阿倉川町一三七五番地の池田氏方に奉祠されています。

東阿倉川154番、
現在羽津山町154番の庚申塚跡

旬の食材

アサリ辛味炒め

アサリの美味しい季節です。むっちりと身がつまり栄養たっぷり、カルシウム、鉄、ビタミンB_2が多く、うま味成分のコハク酸も多いので、美味しいだしがでるのです。

潮汁、酒蒸し、酢味噌和え、炊き込みご飯、深川丼、バター炒め等々。

潮干狩りでたくさん採れたら、砂抜きをして、殻をこすり合わせて洗い、冷凍しておけば一ヶ月程度保存できます。

〈材料〉

砂抜きアサリ　一袋（約三百グラム）
サラダ油　大さじ一杯
赤唐辛子小口切り　一本分
酒　大さじ三杯
地ねぎぶつ切り　二、三本分
生姜せん切り　一片分、醤油少々

〈作り方〉

① アサリは洗い、水けを拭きとる。
② サラダ油に赤唐辛子を入れて、香りが出るまで温め、①を加えて炒める。
③ 地ねぎと生姜を加えて炒め、酒をふり、蓋をして、アサリが開くまで中火で蒸す。
④ しょうゆで味を調える。

知って得する漢字の話

挨拶（あいさつ）

息子が学生のときに「コンビニさえあればぼくは生きていける」と言ったことがありました。弁当も、お茶も、下着も、雨傘も二十四時間レジでお金を出せば無言で買う事ができます。

ボタン一つでテレビやパソコンから膨大な情報が受け取れます。私も人と会話をせずに一ヶ月くらいは暮らせるかもしれません。便利な時代になりました。

そんな毎日を過ごしていて田舎の道すがら見知らぬお年寄りから通りすがりに会釈を受けたりするとはっとします。会釈を返しながら心も体もほんのりと温められていることに気づきます。

挨拶の挨も挨拶の拶も手偏がつきます。挨（あい）は押す、たたく、近づくという意味があり、拶（さつ）にはせまる、ひらくという意味があります。

さりげない自然な一瞬の振舞いがその相手の心の扉をひらいてしまうのは不思議というほかありません。あのときのお年寄りのように自然な会釈を私も身につけたいものです。